

新3年次生向け 教務関連ガイダンス

2022.3.24
情報科学部 教務担当委員長 西口 敏司

2022年度の授業形態について
3年次生の位置づけ、注意すべきこと
情報ゼミの選択について
卒研着手条件の「達成度確認テスト」
履修申請・シラバス・DSシステム
将来計画をたてて、充実した学生生活を

2022年度の授業形態(1)

- 基本的に**対面形式**で実施します
 - 教室では、密にならないように、試験形式で着席(座席指定ではないが、間隔をあける)してください。
 - ごく一部の授業は、**オンラインで実施**されたり、**オンラインで実施する回**があることがあります
 - 2022年度前期から、「代替措置による授業受講にかかる申請」は廃止します
- **状況によっては、オンライン形式に移行して授業実施**します
 - 新型コロナ感染拡大状況によって、国あるいは大阪府からオンライン授業実施の要請があり、かつ、大学としての方針が示された場合
 - 皆さんやその家族に、新型コロナ感染や濃厚接触者認定者が発生した場合
- **新型コロナに感染したり濃厚接触者に認定された場合**
 - 大学のホームページから登録した上で、学部事務室に連絡してください
 - 学部長判断により、関連する授業が一定期間オンラインで実施されることがあります

2022年度の授業形態(2)

- 各授業に関する情報は、行事日程表、時間割、各授業のホームページなどで確認すること
- Google Driveの共有アイテムは補助的に使用します
 - [情報科学部授業資料 2022年度前期](#)



- 「最初に読んでください(情報科学部教務担当)_20220401.pdf」のようなファイルが準備されています。その情報を確認しましょう
- 各授業の担当教員には、**授業形式が変更になった場合などに「最初に読んでください」ファイルの更新や、各種情報をアップロードするようお願いしています**

2022年度の授業形態(3)

- 各授業の主な受講形態、および、各回の実施形態について、授業開始時の情報は以下のGoogleスプレッドシートに記載しています
 - [2022年度 情報科学部 前期授業形態](#)
 - 主な受講形態
 - **対面受講**:学生が主に対面で受講することを想定した授業
 - **オンライン受講**:学生が主に対面以外(オンライン等)で受講することを想定した授業
 - 各回の実施形態
 - **対面**:教員が対面(教室)で実施
 - **オン**:教員が教室以外(オンライン等)で実施
 - **休講**:事情により休講(別途、補講が実施されます)
 - 曜日、学科、学年等でフィルタをかけることができます
 - 状況によって更新される可能性がありますから、授業担当者からの連絡に加え、上記スプレッドシートも確認してください



3年次の位置付け(1)

3年次はほとんどが**専門科目**

- 共通科目は数科目のみ
- 各学科ごとに特徴のある専門科目が多くなる
- 学科毎に**専門性を深める**1年になる

専門科目の特徴

- 過去に習ったことがある内容の延長ではなく、**初めて習う**内容が多い
- 初めて勉強する内容を理解することは、だれにとっても**ハードルが高い!**
- 時間をかけて勉強しないと合格できない
- 1・2年次のように**簡単にはいかない!**

3年次の配当科目

学科	IC	IS	IM	IN
全学科 共通	線形数学II 微積分学II 情報ゼミナール	ソフトウェア工学II ソフトウェア工学演習 データ構造とアルゴリズムII	システムプログラム プログラミング言語論 情報技術者論	オートマトンと形式言語
学科 個別	確率・統計 情報セキュリティの基礎 画像処理 信号処理 プロセス設計 集積回路工学 集積回路設計 Unixプログラミング コンピュータグラフィックスI 知能情報処理 知能制御工学基礎 知能制御工学 知能制御工学演習 情報科学演習II 情報科学演習III	数理計画法 情報セキュリティの基礎 ネットワーク設計 オペレーションズリサーチ 情報システムの計画策定 経営システム論I, II 情報検索 人工知能 ヒューマンインタフェース コンピュータグラフィックスI 構造化文書処理 高信頼システム モデリングとシミュレーション Webサービス論 情報システム学特別講義 情報システム専門演習 情報システム応用演習	確率・統計 数理計画法 情報セキュリティの基礎 アセンブリ言語 ヒューマンインタフェース メディアインタフェース 色彩学 コンピュータグラフィックスII 構造化文書処理 画像情報処理II CAD 音声情報処理 感性情報処理 Webデザイン 情報メディア演習II 情報メディア演習III	確率・統計 数理計画法 情報セキュリティの応用 オペレーションズリサーチ ヒューマンインタフェース モバイルコミュニケーション メディア通信概論 サーバ構築管理 ネットワークアプリケーション 構造化文書処理 情報ネットワーク基礎演習 モデリングとシミュレーション Webサイト制作 ネットワークデザイン専門演習 ネットワークセキュリティ演習

3年次の位置付け(2)

- 現時点の単位数に加え、卒研着手要件を満たすような取り組みが必要となる。
- 出来る限り4年生で単位取得しなくて良いように、卒研以外の「卒業要件」の単位を取得しておく。
- 卒研着手要件の一つは情報ゼミ単位取得
 - 卒研準備, 就職活動準備を行う。
 - 定員は研究室あたり, 7~10人又は一部で5人(他学科配属も可能)
- 達成度確認テストは3年次後期に複数回実施
 - **具体的な日程は後日お知らせします**
- 希望を出す前に多数の研究室を見て回ること!



情報科学部での履修制限

- 3年次「情報ゼミナール」の履修要件
 - 総取得単位数 62 単位以上であること (教職等は除く)
 - 2年終了時に「情報ゼミナール」履修要件を満たすこと. 情報ゼミ非着手=留年.
 - ただし, 2年終了時に80単位は確保しておきたい
- 4年次「卒業研究」の着手要件
 - 「情報ゼミナール」の単位取得
 - 「達成度確認テスト」の合格
 - 以下に示す単位以上を取得していること

総合人間学系	20単位
総合理学系	10単位
キャリア科目	2単位
専門科目	72単位
総計	104単位

← 必修科目 12単位以上
選択必修科目 12単位以上

3年終了時に120単位以上は確保しておきたい

2021年度 情報ゼミ着手許可判定(昨年のデータ)

全員ストレートでの進級を目指してほしい

	2019年入学生 (入学生 455)	留年生
情報ゼミ配属見込	390	23
配属見込/入学生数	89.6%	—

2021年度卒業許可判定

	2018年入学生 (入学生387)	留年生
卒業見込者数(A)	343	42
卒業要件充足(B)	331	38
卒業率(B/A)	97.6%	90.5%
卒業生/入学生数	76.0%	—

5年で卒業 34
6年で卒業 2
7年で卒業 0
8年で卒業 2

◆卒業要件未達成の原因
単位不足 or 卒研を途中であきらめる

2022年度卒業研究着手許可判定

	2019年入学生 (入学生 435)	留年生
学生数(A)	415	69
着手許可(B)	340	49
卒研着手率(B/A)	81.9%	71.0%
卒研着手率 /入学生数	78.2%	—

- 卒業資格を得るためには履修申請要領に記載の条件を満たしていなければならない
 - 入学年次により条件が異なるので自分自身の条件を確認の上, 履修計画を立てること
- 勘違いで卒業できなかった事例はある
 - 卒業要件を満たしていなければ, たとえ就職が決まってもキャンセルして留年するしかない!!
 - 毎年数件の事例あり

卒業要件の確認を

- 総合コースとCSコースで異なるので注意すること(学生便覧参照)
 - 124単位以上取得, 4年以上(8年以下)在学
 - 卒業研究に合格(卒業研究は単位数に含まない)

位として認めることができる。
第4条(卒業に必要な単位数)
卒業に必要な単位数は124単位とし、次表のとおりとする。

コース	区分	単位	
総合コース	人文社会科学	12単位以上	
	外国語	8単位	
	健康・スポーツ科学	2単位	
	総合理化学系	12単位以上	
36単位(人文社会科学または総合理化学系のいずれかは14単位必要)			
キャリア科目		2単位	
専門科目	必修科目	27単位 23単位 22単位 22単位	
	選択科目	59(12) 63(12) 64(12) 64(12)	
	()は選択必修科目の単位を含む		
	12単位以上(コース選択必修科目6単位を含む)		

コース	区分	単位	
CSコース	人文社会科学	12単位以上	
	外国語	8単位	
	健康・スポーツ科学	2単位	
	総合理化学系	12単位以上	
36単位(人文社会科学または総合理化学系のいずれかは14単位必要)			
キャリア科目		2単位	
専門科目	必修科目	27単位 23単位 22単位 22単位	
	選択科目	59(12) 63(12) 64(12) 64(12)	
	()は選択必修科目の単位を含む		
	12単位以上(コース選択必修科目6単位を含む)		

- キャリア科目2単位={基礎ゼミ, キャリアステップ, キャリアデザインI, キャリアデザインII, グローバルテクノロジー論, OIT概論}から2科目
- 2018年度生から新カリキュラムとなっているので, 先輩とは違っています。注意
- 過年度生は, 入学年度に準拠したカリキュラムが適用されます。各自確認のこと。

履修申請と初回授業

- 履修申請期間
 - 2022年4月9日(土)~12日(火)
 - 前期後期分とも専用サイトから申請すること
 - 履修申請要領をよく読むこと!
 - 「履修申請要領」を理解したうえで, 自分の判断で過不足なく履修申請すること!
 - CAP制上限までフルに履修登録すること!
 - 4年後期になって, 勘違いで単位不足で卒業不可になったケースも過去にあり
 - 状況や自身の興味によって他学科科目の履修も検討しましょう
- 初回授業
 - 2022年4月8日(金)から開始
 - 履修を予定する科目は第1週から必ず出席すること
 - 授業計画に従って, 第1回から授業は始まっている
 - 第1回に教材の配布やグループ分け, レポートや試験が実施される科目あり
 - シラバスをよく読んで, 各科目の目的を理解しておくこと

前期の履修申請期間について

- 登録期間
 - 2022年4月9日(土)～4月12日(火) ※必ず1年間分を履修登録すること
- 履修疑義受付
 - 2022年4月22日(金)～4月25日(月)
- 履修辞退受付
 - 前期:2022年5月13日(金)～5月16日(月)
 - 前期前半:2022年6月18日(土)～6月20日(月)
- 事前申請が必要な科目(人文社会科学系・総合理学系)の授業科目履修について
 - 【2年次生以上】履修ガイダンス後～2022年3月29日(火)11:00まで
 - 【1年次生】2022年4月5日(火)～4月6日(水)11:00まで
 - シラバスp.31～p.32を確認

シラバスの見方(1)

- 各科目の学習目的, 授業の進め方, 成績評価方法などポータルサイトから
- がまとめられているので, よく読むこと。
- 記載項目
 - 授業のねらい・概要
 - 授業計画
 - 各回のテーマ・内容・方法, 予習復習内容と時間
 - 到達目標
 - 評価方法
 - 成績評価基準(ミニマムリクワイアメント)
 - 教科書・参考書・授業心得・オフィスアワー
- 2単位の授業科目で要求されている学習時間は, 90時間(予習, 授業, 復習)
 - シラバスの「予習/復習」「受講心得」などに授業時間以外での学習について記載しているので, よく読んでおくこと。



シラバスの見方(2)

- 特に, 各科目の到達目標, 評価方法, 成績評価基準をよく理解しておくこと
 - 合格基準に達しなければいくら先生に頼み込んでも単位はもらえない

到達目標	(a) マシンレベルから高級言語に至るプログラミング言語の役割を理解しており, 高級言語がマシン語プログラムに変換され, 実行される過程を理解し, 説明できること。 (b) プログラミング言語における関数のパラメータ渡しと手続きの駆動メカニズムについて理解し, 説明できること。 (c) 構文規則をBNFで表現する手法を理解し, BNFの解釈及び簡単なBNFや構文木の記述ができるようになること。 (d) 逆ポーランド記法の式の評価を理解し, プログラミングができること。 (e) 関数型言語の特徴を理解し, 簡単なプログラムを読んで理解し, 説明できること。 (f) オブジェクト指向言語の概念を理解し, 説明できること。 (g) 論理型言語の基礎を理解し, 簡単なプログラムを読んで理解し, 説明できること。
評価方法	評価は定期試験を主とするが, 小テスト, および授業中に適宜課す演習課題およびレポートも勘案する。
成績評価基準	A: 到達目標のすべての項目(a)～(g)が良好な水準で達成できている。 B: 到達目標のすべての項目(a)～(g)が達成できている。 C: (a)～(e)がすべて達成できている。 D: (a)(b)(c)(e)がすべて達成できている。(minimum requirement) F: 上記以外。 A = 4点でGPA計算 B = 3点でGPA計算 C = 2点でGPA計算 D = 1点でGPA計算 F, X 不合格

GPA(Grade Point Average)

- 学修効果を数値化して表している
 - 当該期:S-GPA, 当該年:Y-GPA, 累計:T-GPA
- GPAの大学での利用
 - 修学指導
 - 卒研, 情報ゼミ配属時の選考基準
 - 成績順位(卒業時各学科上位3名は表彰対象)
 - 大学院学内進学(2.40以上でA判定, 2.00以上でB判定)
 - 奨学生の選考
- ただし, 最終的な成績(席次)はGPAのみではなく, 「GPA×取得単位数」で評価される
 - 単にGPAだけを上げるのではなく, 多くの単位を取得して専門性を高めること

情報ゼミ配属について(1)

- 「情報ゼミナール配属方法について」参照
- 配属システムのWebサイトからログイン
 - 各研究室の説明会と第一希望登録(4/4(月)~4/22(金))
 - この間希望者数以外の登録情報などは非公開。教員にも非公開。
- 第1次選考
 - 希望登録:4/4~4/22, 選考期間:4/23~5/6, 発表:5/7
 - この間, 面談・レポート提出・試験などが行われることもある
- 第2次選考
 - 希望登録:5/7~5/11, 選考期間:5/12~5/18, 発表:5/19
- 所属ゼミ決定後は, 各ゼミでの指示に従うこと
 - 情報ゼミ配属と卒研配属は別のもので、9割以上の学生が同じ研究室に進みますから、十分検討して配属希望登録すること

情報ゼミ配属について(2)

(1)ポータルサイトから学習支援サイトへ

(2)いちばん下情報ゼミ配属システムへ

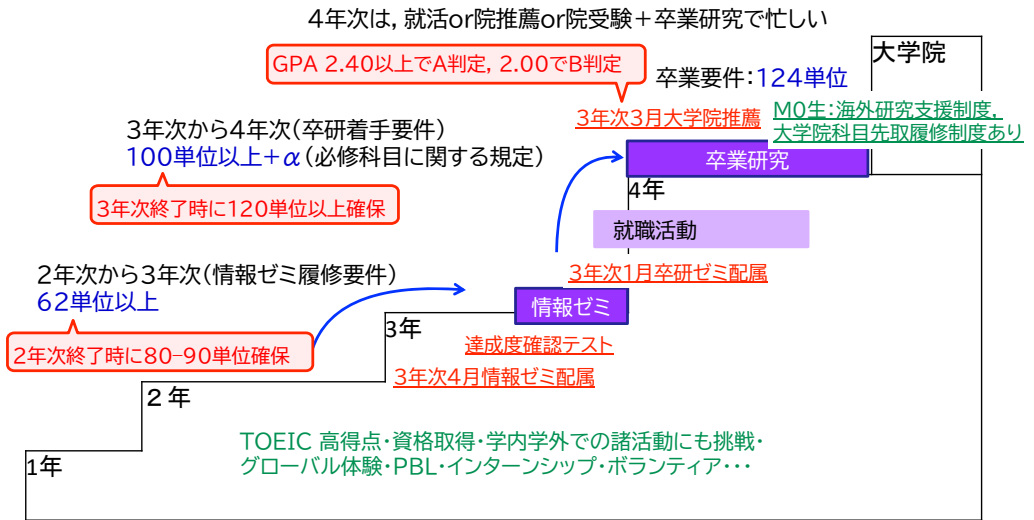
(3)配属システム Sorting Hat
<https://tsh.is.oit.ac.jp/>
学内or VPN接続要

情報ゼミ配属について(3)

- 配属希望登録について
 - 原則は各自が所属する学科の教員に配属
 - 希望者が定員を超えた場合は, 担当教員による選考が行われる
 - 他学科の専門科目教員のところに希望を出すことも可能
 - 希望者が定員以下:希望者全員が配属
 - 希望者が定員以上:他学科からの配属は2名以下
 - 共通教育教員(藤・藤井・横川・井上・矢野・久米の各先生)は, 所属学科に関係なく配属される
 - 既に成績表にて有資格者は決定されている
- 配属後の活動について
 - 前期から活動始めるゼミもある
 - 夏休み中の活動が必須のゼミもある
 - 研究室によって様々な内容の活動が行われる

研究室説明会を活用して, 事前にどのような研究室があるのかを積極的に見学しておき, 自分がどんな分野で卒研をしたいかを, よく考えること

将来計画をたてて充実した学生生活を



おわりに

- 卒業研究配属要件をなんとかしても満たすこと！
 - 達成度確認テストをぬかりなくパスしましょう
 - 4年生は卒研と就職活動があるため、これに専念できるよう、3年生で単位をできる限り蓄積すること。目標は120単位以上、できれば124単位です
 - 特に必須科目は全て単位取得しておくこと。
- 以下のことを念頭に置いて頑張ってください。
 - 毎年、単位不足で卒研着手できない＝留年する人がいます
 - 計画的に単位取得を目指しましょう
 - 3年次は進路(就職・進学)を検討する重要な時期でもあります
- 時間のある学生にしかできないことをプラス1
 - TOEIC 高得点・資格取得・学内学外での諸活動にも挑戦・
 - グローバル体験・PBL・インターンシップ・ボランティア・・・